

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果（公表）

公表： 2023年 2月 1日

事業所名 ハッピーテラスおおいた第2教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	0	定員15名分以上のスペースを確保している	
	2	職員の配置数は適切である	1	2	基準人員よりも、職員数を多く配置している	10名定員において、基準人員だけでは支援が行き届かない部分があるので職員数を増やす
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	3	0		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	3	0	支援に係る時間を増やすために常に業務改善意識を持っている	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	0		保護者の方の貴重なご意見を把握することで利用満足度が向上するよう業務改善につなげていく
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	0	保護者の方には配布し、情報公開としてホームページにも掲載	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0	3		外部評価は行っていないが、外部意見は取入れているので、業務改善の検討をしていく
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	0	運営本部のオンライン研修等でスキルアップを促している	
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	3	0	プログラムが偏らないよう立案はミーティングで決定している	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	3	0	週間テーマを決めた上で、日々のプログラムを決めている	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	3	0		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	3	0		
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	3	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	3	0	支援計画に沿った目標と共有する部分を日々、記録している	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	3	0		
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	3	0		
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせて支援を行っている	3	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	3	0		
	21	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	3	0		
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—		
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	1	2	法人が運営する児童発達支援事業所から情報共有している	保育所やこども園等については、必要に応じて情報共有と相互理解に努めていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	0		専門機関が開催する研修等に積極的参加をして、全職員に周知していく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	3		現在は交流の機会を設けていないが、必要あれば検討していく
	27	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	0	3		現在は協議会等に参加していないが、必要あれば検討していく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	3	0	通所毎のフィードバックで共通理解している	
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0	3		ペアレント・トレーニングは、必要に応じて個別に検討していく
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	0		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	3	0		
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	3		保護者を含めた親子参加型のイベントを企画していく
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	0	体制整備を行い、全職員に対応の手順、連絡手順等を周知している。また、保護者にも説明と事業所内掲示している	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	3	0	活動状況の写真やプログラム予定が掲載した新聞を、保護者に発行している	
	35	個人情報に十分注意している	3	0		
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	3	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	1	主催するイベントに、地域の児童を招待した開催を行っている	定期的な地域イベント等はないので、検討しながら運営していく
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	3	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	3	0	週間テーマで定めた日（防災の日）等に訓練・指導している	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	3	0		
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	3	0		身体拘束の事例や処置について事前に理解した上で、対象となる児童について組織的に検討していき、保護者の承諾を得たうえで、計画書の記載を行っていくよう研修等を重ねていく
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	—	—		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	3	0	些細なことでも事例を作成して職員間で共有している	事業所内だけではなく、他教室の事例も参考にし、職員間で共有していく